

杉本博司 アートの起源 | 宗教

ダンス・パフォーマンス

Hiroshi Sugimoto ORIGINS OF ART | Religion

Dance Performance

KANNON

首藤康之 | Yasuyuki Shuto

2011.8.28 sun.19:30 開演

◎アフタートーク「杉本博司×首藤康之」

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art



杉本博司 アートの起源 | 宗教

ダンス・パフォーマンス

Hiroshi Sugimoto ORIGINS OF ART | Religion

Dance Performance

アフタートーク「杉本博司×首藤康之」

2011年8月28日(日) 19:00開場 19:30開演 [21:00トーク終了予定]

会場:丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

1年間にわたり4つの展覧会で一人のアーティストを紹介する注目のプロジェクト「杉本博司 アートの起源」。いよいよ最終回となる本展のテーマは「宗教」です。

杉本がつくり出す展示空間の中で、トップダンサーとして世界で活躍する首藤康之が、出品作《十一面観音立像》(平安時代)にインスピレーションを受けて「KANNON」を踊ります。ダンス・パフォーマンス終了後には杉本博司と首藤康之によるアフタートークを開催します。

◎首藤康之 | Yasuyuki Shuto

15歳で東京バレエ団に入団。「ラ・シルフィード」、「ジゼル」、「白鳥の湖」等の古典作品をはじめ、モーリス・ベジャール振付「ボレロ」他、ジョン・ノイマイヤー、イリ・キリアン、マシュー・ポーン等、世界的振付家の作品に数多く主演。04年以降東京バレエ団特別団員となる。以降も浅野忠信監督の映画「トリー」、ジョー・カルロ出演「SHAKESPEARE'S R&J」でストレートプレイに出演。07年には自身のスタジオ「THE STUDIO」をオープン。同年、ベルギー王立モネ劇場にて、シディ・ラルビ・シェルカウイ振付「アポクリフ」を世界初演。08年、小野寺修二演出「空白に落ちた男」初演、同作品は10年にパルコ劇場で再演。最近では「The Well-Tempered」、「時の庭」等、中村恩恵との創作活動を積極的におこなっている。また「アポクリフ」は初演以来世界ツアーで毎年公演を重ね、10年に日本公演が実現。これら一連の成果を認められ第42回舞踊批評家協会賞を受賞。国内外問わず活躍の場を広げている。

KANNON

首藤康之 | Yasuyuki Shuto

展覧会「杉本博司 アートの起源 | 宗教」

2011年8月28日(日)→11月6日(日) 会期中無休

開館時間=10:00-18:00(入館は17:30まで)

観覧料=一般:950円(760円) 大学生650円(520円) *()内は前売り及び20名以上の団体料金(常設展料金含む)

高校生以下または18歳未満・丸亀市内に在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

杉本博司は、写真というメディアを追求し、独自のコンセプトと最高の技術によって生み出した美しくも力強い表現で世界中の人々を魅了してきました。この深遠なる杉本芸術の全貌を明らかにすべく、一人のアーティストを1年間にわたって4つの連続する展覧会で紹介する「杉本博司 アートの起源」を2010年11月より開催しています。この大規模なプロジェクトを締めくくる第4回目となる本展では「宗教」をテーマとして取り上げます。杉本作品を核としながら、宗教芸術と組み合わせることで、人間の想像力の源泉を辿り、アートの起源へと迫る構成となるでしょう。

◎杉本博司 | Horoshi Sugimoto

1948年東京生まれ。立教大学経済学部を卒業後、ロサンゼルスのアートセンター・カレッジ・オブ・デザインで写真を学ぶ。74年よりニューヨーク在住。現代美術作家として活動するかたわら、古美術商を営んでいた時期も。代表作に自然史博物館のジオラマを撮影した「ジオラマ」シリーズ(76年~)、全米の映画館などで撮影した「劇場」シリーズ(78年~)、世界各地の海を同じ手法で撮影した「海景」シリーズ(80年~)などがある。2001年、ハッセルブラッド国際写真賞受賞。作品所蔵美術館はメトロポリタン美術館(ニューヨーク)、テートギャラリー(ロンドン)、ポンピドゥーセンター(パリ)、東京国立近代美術館など多数。建築にも造詣が深く、99~2002年にかけては「ベネッセアートサイト直島」の護王神社再生プロジェクトに携わった。2005年、東京・森美術館で回顧展、2008~09年、金沢21世紀美術館、国立国際美術館で「歴史の歴史」展開催。主な著書に「歴史の歴史」(六耀社)、『苔のむすまで』(新潮社)がある。2010年11月より丸亀市猪熊弦一郎現代美術館にて「アートの起源」を1年間にわたり開催中。

[料金]

一般:4,000円(当日の観覧料込、150枚限定)
年間パスポートをお持ちの方、高校生以下、MIMOCA FRIEND
会員 3,500円

- *1 限定数に達し次第販売終了となります。
- *2 年間パスポート、学生証、MIMOCA FRIEND会員証を当日ご提示下さい。
- *3 展覧会会場でのパフォーマンスのため、ステージと客席の区別がなく、一部もしくは全ての方が立ち見となる可能性があります。

[ご購入方法]

2011年7月23日(土)10:00より販売・購入受付開始

- 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館1F受付にて販売
- メールにて購入受付

下記の書式にてお申し込みいただき、料金は当日窓口にてお支払下さい。

宛先:mimoca_info@mimoca.org

件名:首藤康之ダンス購入申込

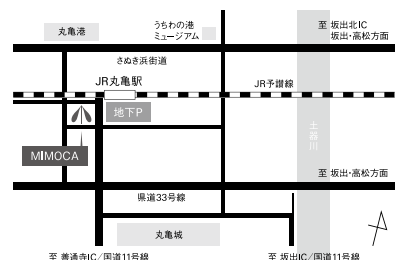
お名前(フリガナ)、メールアドレス(mimoca.orgからのメール受信が可能なアドレス)、ご住所、お電話番号、受付枚数(お1人様2枚まで)。

- *1 お名前、ご住所、お電話番号は必ず記載ください。記載漏れがある場合はご予約いただけませんのでご注意ください。お申し込みいただいた方には受付完了メールをお送りいたします。(このメールをもちましてご予約となります)
- *2 キャンセルの場合は前日までに必ずご連絡ください。当日ご連絡なくキャンセルされた場合は、チケット代金を請求させていただく場合があります。

主催:丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
企画制作:公益財団法人小田原文化財団
協力:ギャラリー小柳、SAYATEI

[アクセス]

- ・鉄道(JR):JR丸亀駅下車、南口より徒歩1分
東京駅[新幹線で約3時間20分]/博多駅[新幹線で約1時間40分]—岡山駅—
[松山または高知方面行特急で約40分]—丸亀
高松駅—[予讃線快速で約30分]—丸亀
- ・飛行機で:(高松空港から)高松空港—[タクシー約40分/乗合タクシー約50分*]—
丸亀 *高松空港シャトル便(1名片道1,500円/搭乗前日午前中迄の予約制/0120-135024
または0877-22-1112/東讃交通)
- 高松空港—[バス約40分]—高松駅—[予讃線快速で約30分]—丸亀
(岡山空港から)岡山空港—[バス約30分]—岡山駅—
[松山または高知方面行特急で約40分]—丸亀
- ・高速バスで:東京・横浜・名古屋・大阪・関西空港・神戸・福岡より直通運行
- ・お車で:JR丸亀駅前地下駐車場・1時間無料
(本州方面から)[瀬戸大橋経由]瀬戸中央自動車道 坂出北ICより約10分
[神戸淡路鳴門連絡道]高松自動車道 坂出ICより約15分
(四国内の高速道路から)高松自動車道 坂出IC・普通寺ICより約15分



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1(JR丸亀駅前)
Maruyama Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art/
The MIMOCA Foundation
80-1 Hama-machi Maruyama-shi Kagawa 763-0022 Japan
Tel.0877-24-7755 http://mimoca.org